

MITSUBISHI MOTORS

2026年度
第2四半期 決算報告

2026年11月6日

1.決算総括

2.2026年度第2四半期 実績

3.2026年度 業績見通し

4.ビジネスハイライト

決算総括

2026年度上期 実績

- 日本・中東の堅調な販売が下支えするも、中東紛争を契機とした燃料高と電動化シフトの急加速により、アセアン・豪州中心に販売台数は減少
- 各種費用の改善や為替影響等により、営業利益は前年同期比**133**億円増益も、さらなる収益力向上が必要
- 上期累計：売上高**13,088**億円/営業利益**306**億円/当期純損失**30**億円

2026年度通期見通し

- 新型『パジェロ』を軸にブランド強化。収益性の高いモデルに注力
- 中東紛争の長期化により燃料高・電動化シフトは継続、資材費高騰は拡大する見通し。コスト構造の見直しを進め、収益確保を徹底
- 通期見通し：売上高**29,600**億円/営業利益**700**億円/当期純利益**100**億円/年間配当見通し**10**円

1.決算総括

2.2026年度第2四半期 実績

3.2026年度 業績見通し

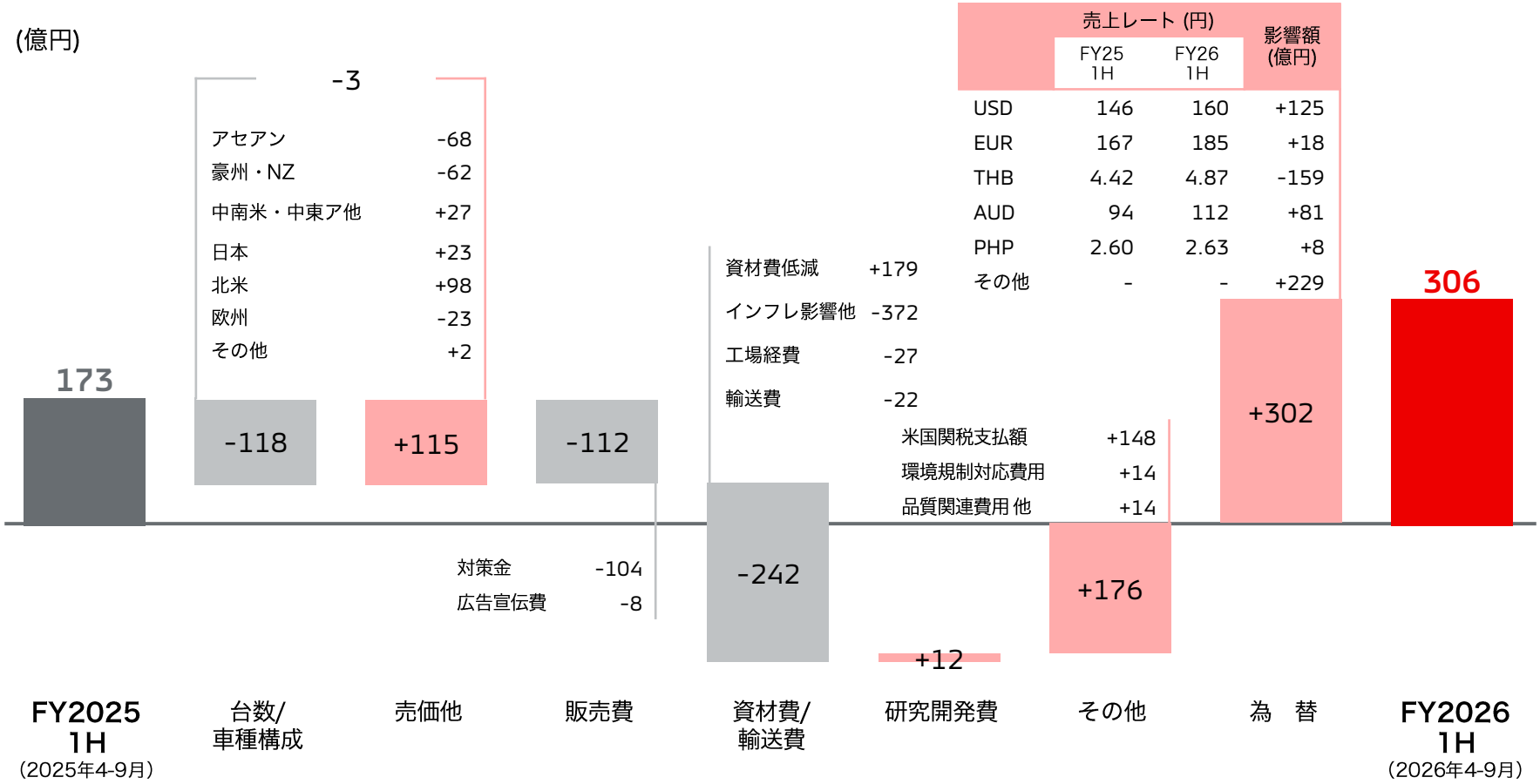
4.ビジネスハイライト

2026年度第2四半期 業績サマリー【前年同期比】

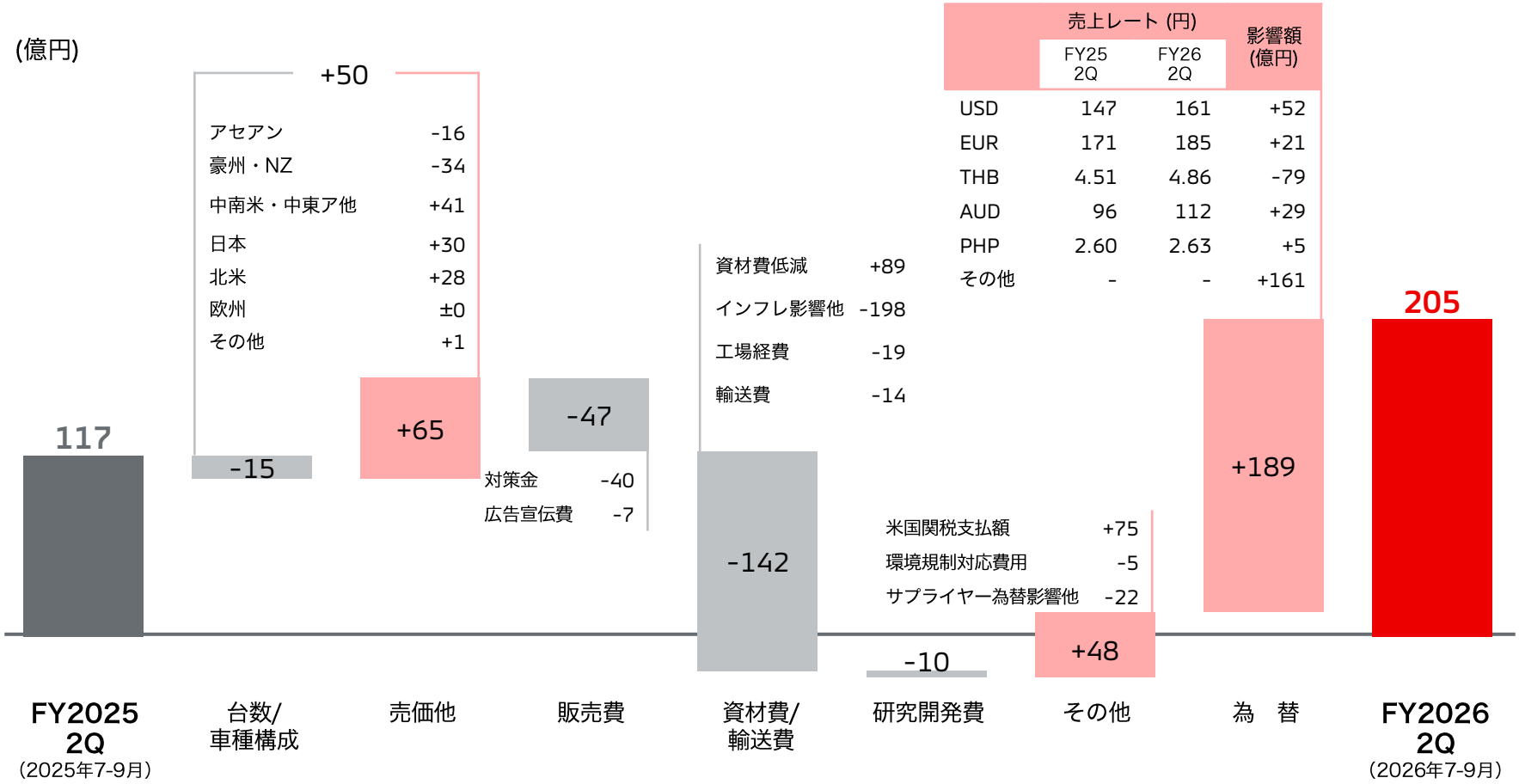
(億円、千台)	上期（4-9月）				四半期別	
	FY2025	FY2026	増減		1Q	2Q
			差異	率		
売　上　高	12,613	13,088	+475	+4%	6,199	6,889
営業利益 (利益率)	173 (1.4%)	306 (2.3%)	+133 (+0.9pp)	+77%	101 (1.6%)	205 (3.0%)
経常利益	158	138	-20	-13%	97	41
当期純利益*	-92	-30	+62	-	14	-44
小売販売台数	384	358	-26	-7%	179	179

* 親会社株主に帰属する当期純利益

2026年度上期 営業利益変動要因分析【前年同期比】

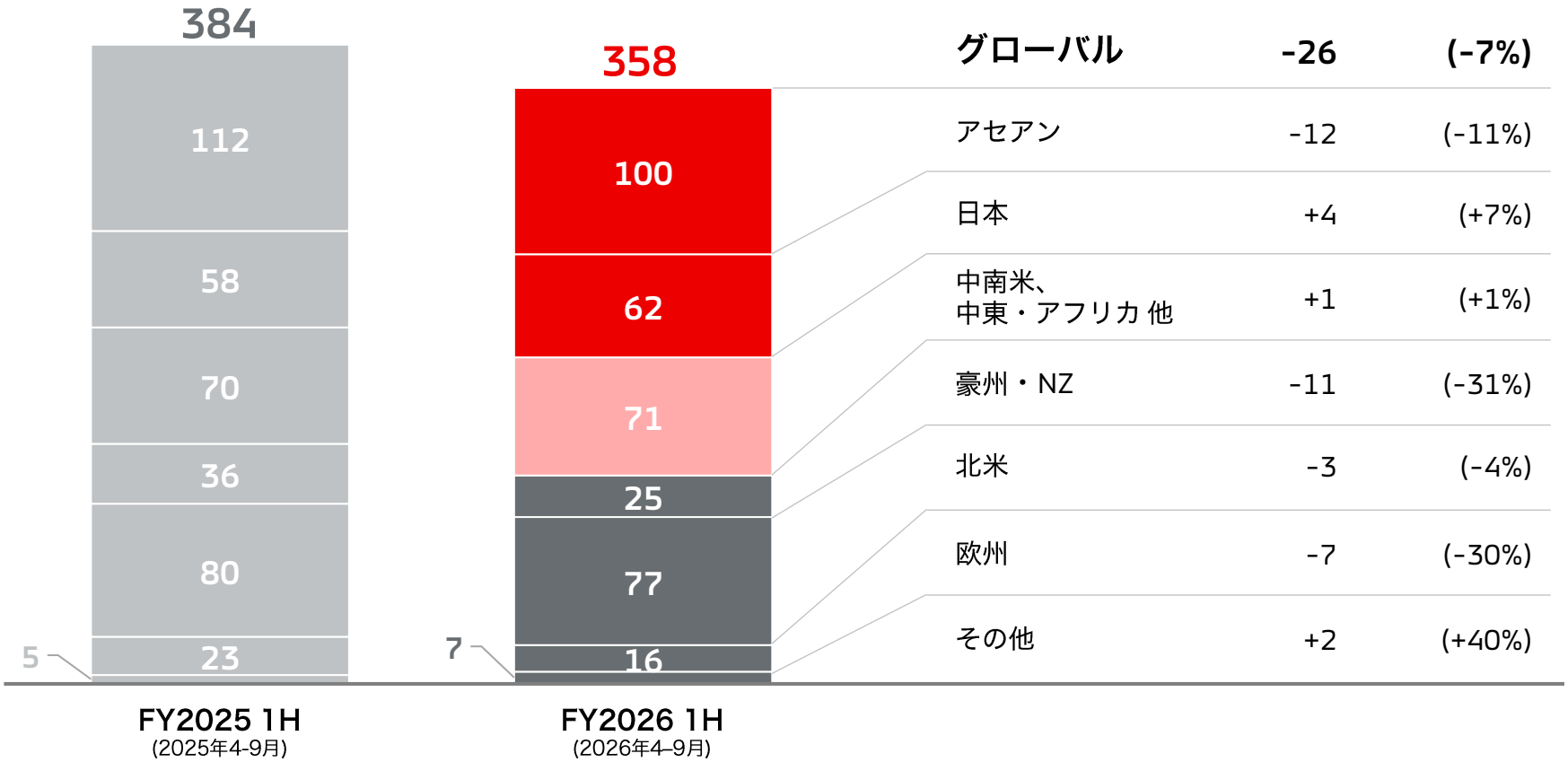


2026年度 第2四半期 営業利益変動要因分析【前年同期比】



2026年度上期 小売販売台数実績【前年同期比】

小売台数（千台）



グローバル	**-26**	**(-7%)**
アセアン	-12	(-11%)
日本	+4	(+7%)
中南米、 中東・アフリカ 他	+1	(+1%)
豪州・NZ	-11	(-31%)
北米	-3	(-4%)
欧州	-7	(-30%)
その他	+2	(+40%)

2026年度第2四半期 各地域の状況

日本

小売販売台数

	FY2025/1H		FY2026/1H
日本	58千台	→	62千台
登録車	25千台	→	27千台
軽自動車	33千台	→	35千台



パジェロ

■ 登録車：主力モデルの好調により、上期前年同期比8%増
■ 軽自動車：堅調な販売が継続し、前年同期を上回って推移

➡新型『パジェロ』の販売拡大と全モデルへの波及効果創出に注力

2026年度第2四半期 各地域の状況

アセアン・オセアニア

小売販売台数・マーケットシェア（当社調べ）

	FY2025/1H		FY2026/1H
アセアン	112千台	➡	100千台
タイ	13千台 (4.6%)	➡	11千台 (3.1%)
インドネシア	32千台 (8.5%)	➡	32千台 (6.9%)
フィリピン	42千台 (18.8%)	➡	30千台 (14.9%)
ベトナム	17千台 (12.2%)	➡	20千台 (14.9%)
その他	8千台	➡	7千台
オセアニア	36千台	➡	25千台



デスティネーター

■ アセアン：販売の質を重視し、持続的なブランド価値向上を推進
■ オセアニア：新商品投入を見据え、販売基盤の再構築を着実に推進

➡市場環境の転換が進む中、持続的な事業成長に向けた基盤づくりを継続

2026年度第2四半期 各地域の状況

中南米・中東アフリカ

小売販売台数

	FY2025/1H		FY2026/1H
中南米・中東ア 他	70千台	→	71千台
中南米	34千台	→	33千台
中東ア 他	36千台	→	38千台



トライトン

■ 中南米 ：新型『デスティネーター』投入を起点に、SUVプレゼンス向上を推進
■ 中東ア 他：主力のアウトランダーに新型『デスティネーター』が加わり販売好調
➡新商品の投入・浸透促進を通じ、販売基盤の強化と各国市場での存在感向上を図る

2026年度第2四半期 各地域の状況

北米・欧州

小売販売台数

	FY2025/1H		FY2026/1H
北米	80千台	→	77千台
欧州	23千台	→	16千台



アウトランダー

■ 北米：商品ラインアップ拡充と販売効率向上により収益性を強化
■ 欧州：価格競争力強化とコアモデル拡販による競争力強化を推進

➡商品・価格戦略の最適化を通じ、収益性と販売効率の向上を図る

1.決算総括

2.2026年度第2四半期 実績

3.2026年度 業績見通し

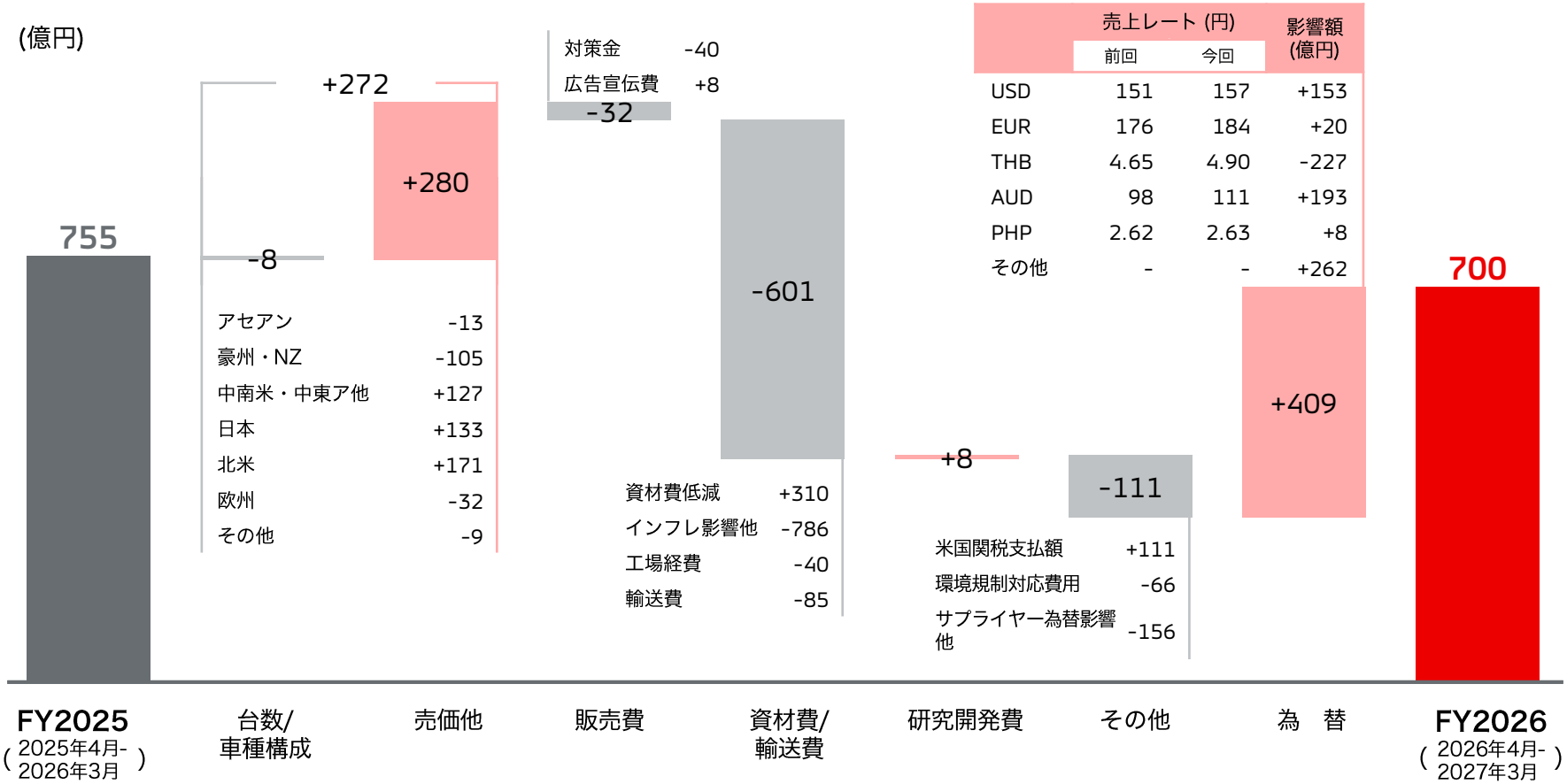
4.ビジネスハイライト

2026年度 業績見通し【前年度比】

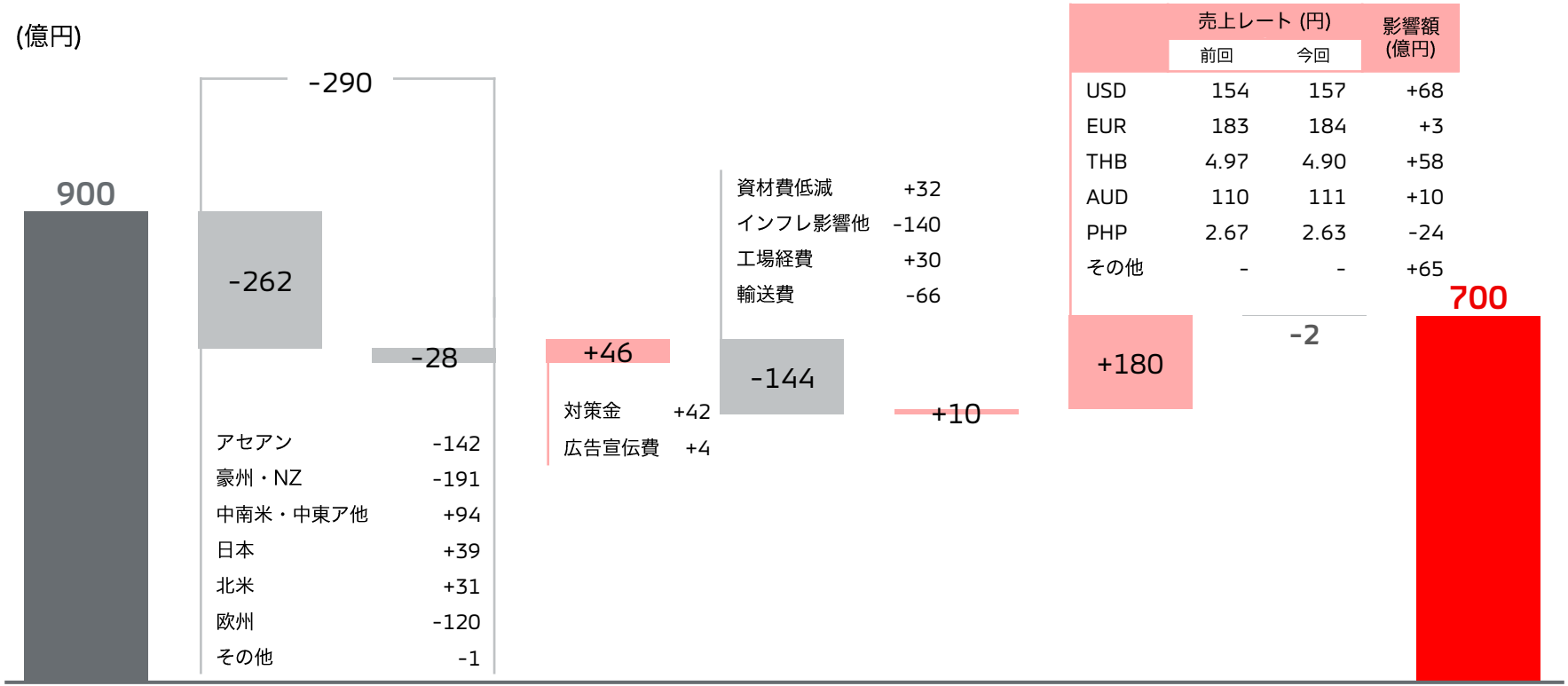
(億円、千台)	FY2025 (2025年4月-2026年3月)	FY2026 見通し (2026年4月-2027年3月)	増減 差異	増減 率	前回見通しからの増減
売　上　高	28,965	29,600	+635	+2%	-3,000
営業利益 (利益率)	755 (2.6%)	700 (2.4%)	-55 (-0.2pp)	-7%	-200
経常利益	789	480	-309	-39%	-320
当期純利益*	100	100	±0	0%	-150
1株当たり配当 (円)	¥10	¥10			-
小売販売台数	797	764	-33	-4%	-93

* 親会社株主に帰属する当期純利益

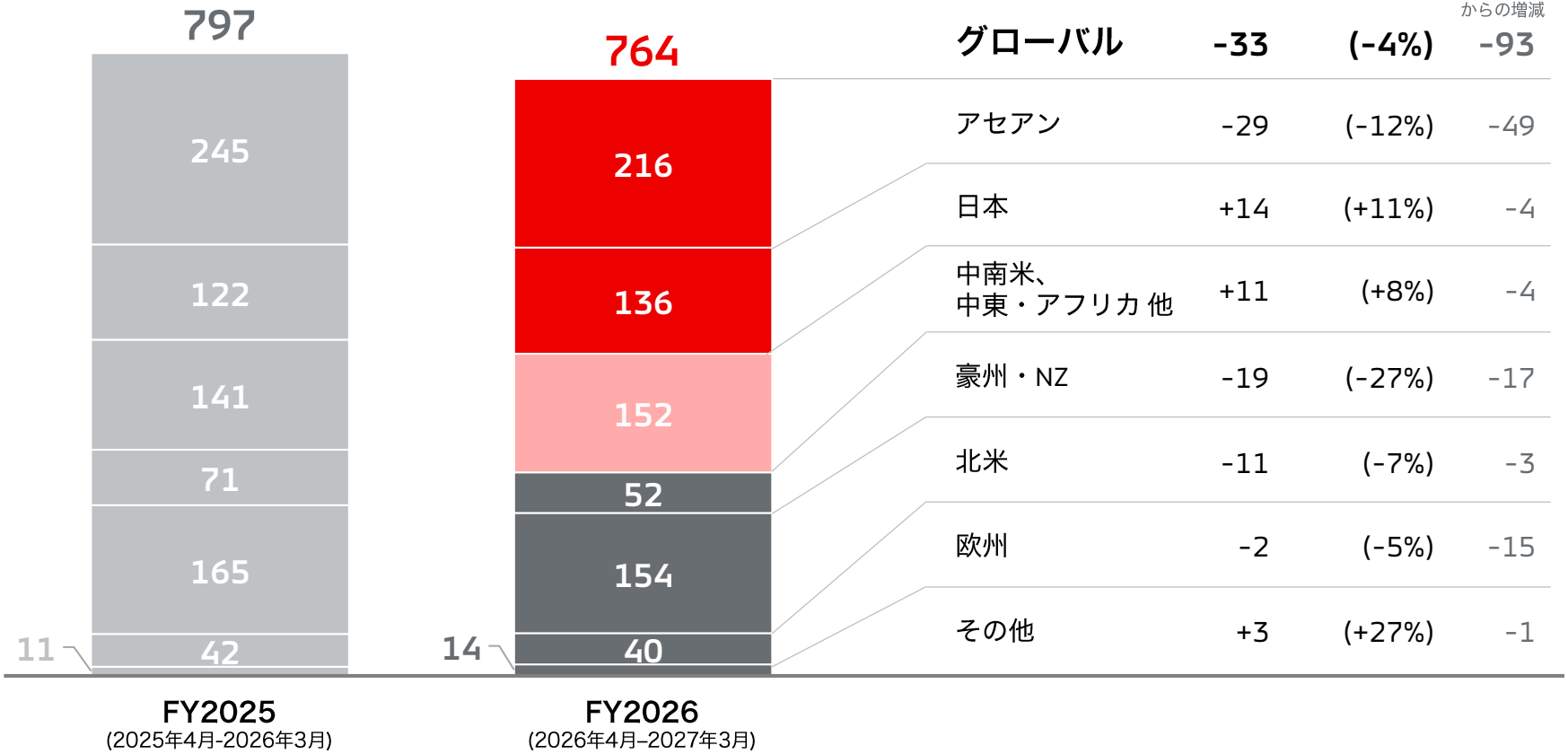
2026年度 営業利益見通し変動要因分析【前年度比】



2026年度 営業利益見通し変動要因分析【期初公表比】



2026年度 小売販売台数見通し【前年度比】



			前回見通しからの増減
グローバル	**-33**	**(-4%)**	**-93**
アセアン	-29	(-12%)	-49
日本	+14	(+11%)	-4
中南米、中東・アフリカ 他	+11	(+8%)	-4
豪州・NZ	-19	(-27%)	-17
北米	-11	(-7%)	-3
欧州	-2	(-5%)	-15
その他	+3	(+27%)	-1

1.決算総括

2.2026年度第2四半期 実績

3.2026年度 業績見通し

4.ビジネスハイライト

新型クロスカントリーSUV『パジェロ』始動

2026年度販売目標10,000台に対し、
11月5日現在9,000台の受注獲得



アセアン戦略車の販売地域拡大



エクスフォースHEV

- 昨年度のタイに続き、2026年7月よりインドネシアにて販売開始。HEVモデルへの高い関心を背景に、順調な立ち上がり
- ニュージーランドや中南米の一部の国にも投入開始し、当社HEVモデルの浸透を推進する



デスティネーター

- 2025年度下期、インドネシアを皮切りに投入以降、アセアンでは電動車シフト等の影響受けるも、輸出地域の需要拡大により概ね計画通りに進捗
- グローバル展開を加速し、アセアン戦略車としての販売基盤を強化

デリカブランドの価値向上



デリカD:5

- 上期販売16.8千台(前年同期比+24%)、2期連続で過去最高
- 6年連続で前年同期を上回る販売を達成
- 歴代デリカオーナーから新規顧客へ支持が広がり、ブランド基盤が着実に拡大



デリカミニ

- 上期販売24.2千台（前年同期比+11%）、堅調な販売モメンタムが継続
- 9月単月で6千台超、発売以来過去最高を記録
- デリカミニを通じて支持層が広がり、シリーズとしてのブランド定着が進展


MITSUBISHI
MOTORS
Drive your Ambition

APPENDIX

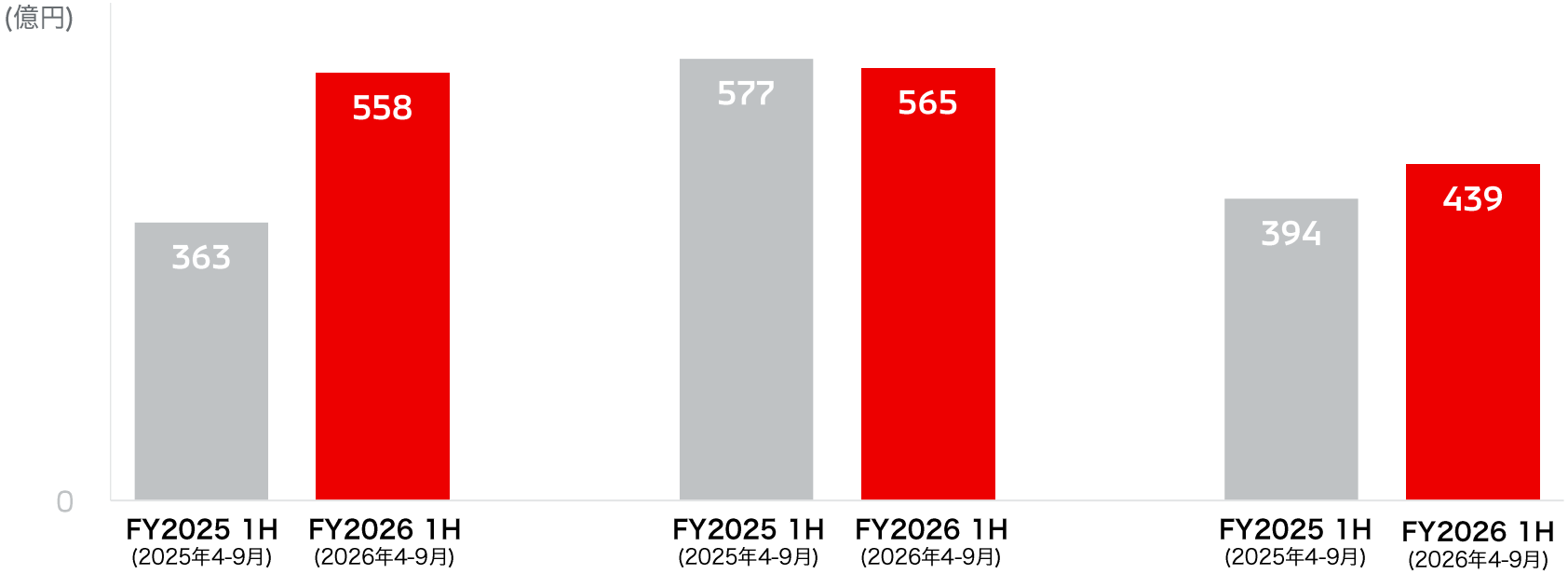
2026年度上期 バランス・シート/フリーキャッシュフロー【前年度/同期比】

(億円)	FY2025 (2026年3月末)	FY2026 1H (2026年9月末)	増減
資産合計	24,181	23,365	-816
うち現金及び預金	4,389	3,005	-1,384
負債合計	14,548	13,926	-622
うち有利子負債	3,954	4,472	+518
純資産合計	9,633	9,439	-194
自己資本 (自己資本比率)	9,195 (38.0%)	9,039 (38.7%)	-156
ネットキャッシュ 【自動車事業及び消去】	4,062	2,125	-1,937

(億円)	FY2025 1H (2025年4-9月)	FY2026 1H (2026年4-9月)	増減
フリーキャッシュフロー 【自動車事業及び消去】	-1,296	-1,673	-377

2026年度上期 設備投資・研究開発費・減価償却費

設備投資	研究開発費	減価償却費
558億円	565億円	439億円
+54% (YoY)	-2% (YoY)	+11% (YoY)



2026年度上期 地域別業績【前年同期比】

（億円）	売上高			営業利益		
	FY2025 1H (2025年4-9月)	FY2026 1H (2026年4-9月)	増減	FY2025 1H (2025年4-9月)	FY2026 1H (2026年4-9月)	増減
合計	**12,613**	**13,088**	**+475**	**173**	**306**	**+133**
- アセアン	2,782	2,465	-317	107	37	-70
- 豪州・NZ	1,351	1,158	-193	-42	6	+48
- 中南米、中東・アフリカ 他	1,934	2,045	+111	56	53	-3
- 日本	2,820	3,298	+478	49	47	-2
- 北米	2,975	3,352	+377	-39	163	+202
- 欧州	734	732	-2	39	-6	-45
- その他	17	38	+21	3	6	+3

2026年度 売上高見通し【前年度比】

（億円）	FY2025 （2025年4月-2026年3月）	FY2026 見通し （2026年4月-2027年3月）	増減
合計	**28,965**	**29,600**	**+635**
- アセアン	6,135	6,100	-35
- 豪州・NZ	2,860	2,500	-360
- 中南米、 中東・アフリカ 他	4,528	4,850	+322
- 日本	6,594	7,400	+806
- 北米	6,617	6,800	+183
- 欧州	2,120	1,900	-220
- その他	111	50	-61

2026年度 設備投資・研究開発費・減価償却費見通し

設備投資

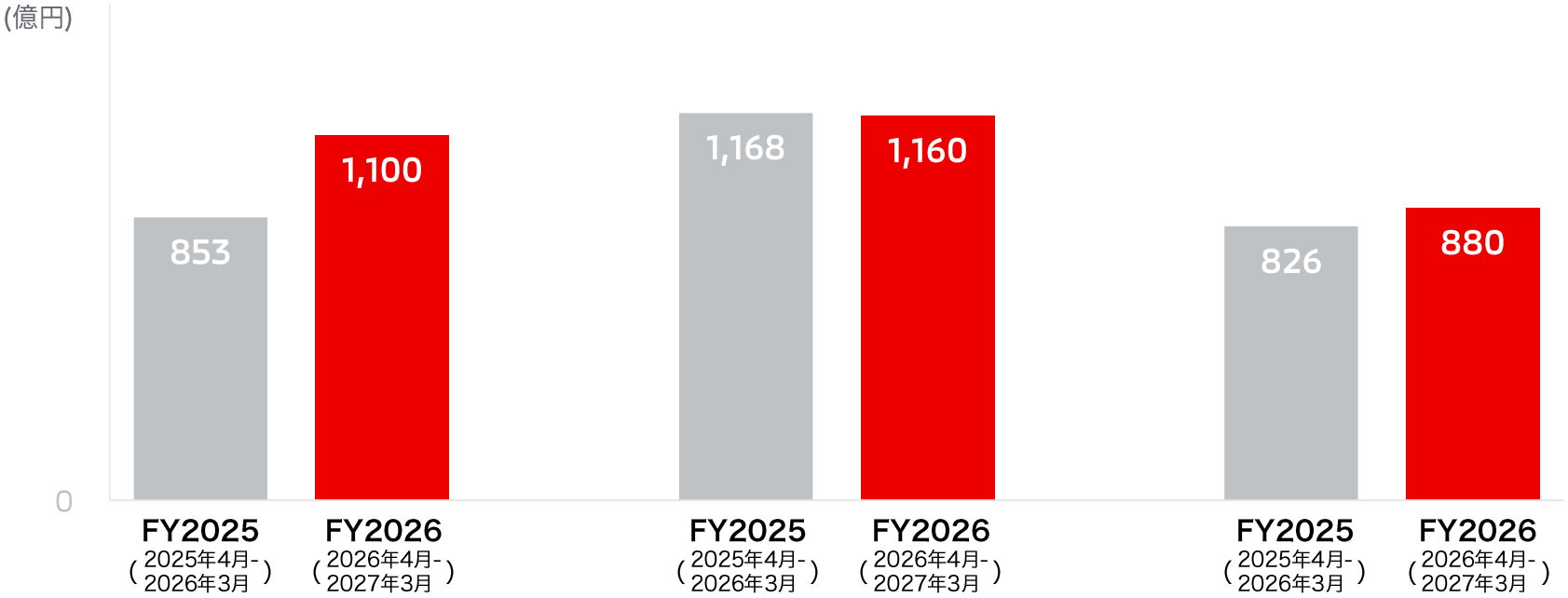
1,100億円
+29% (YoY)

研究開発費

1,160億円
-1% (YoY)

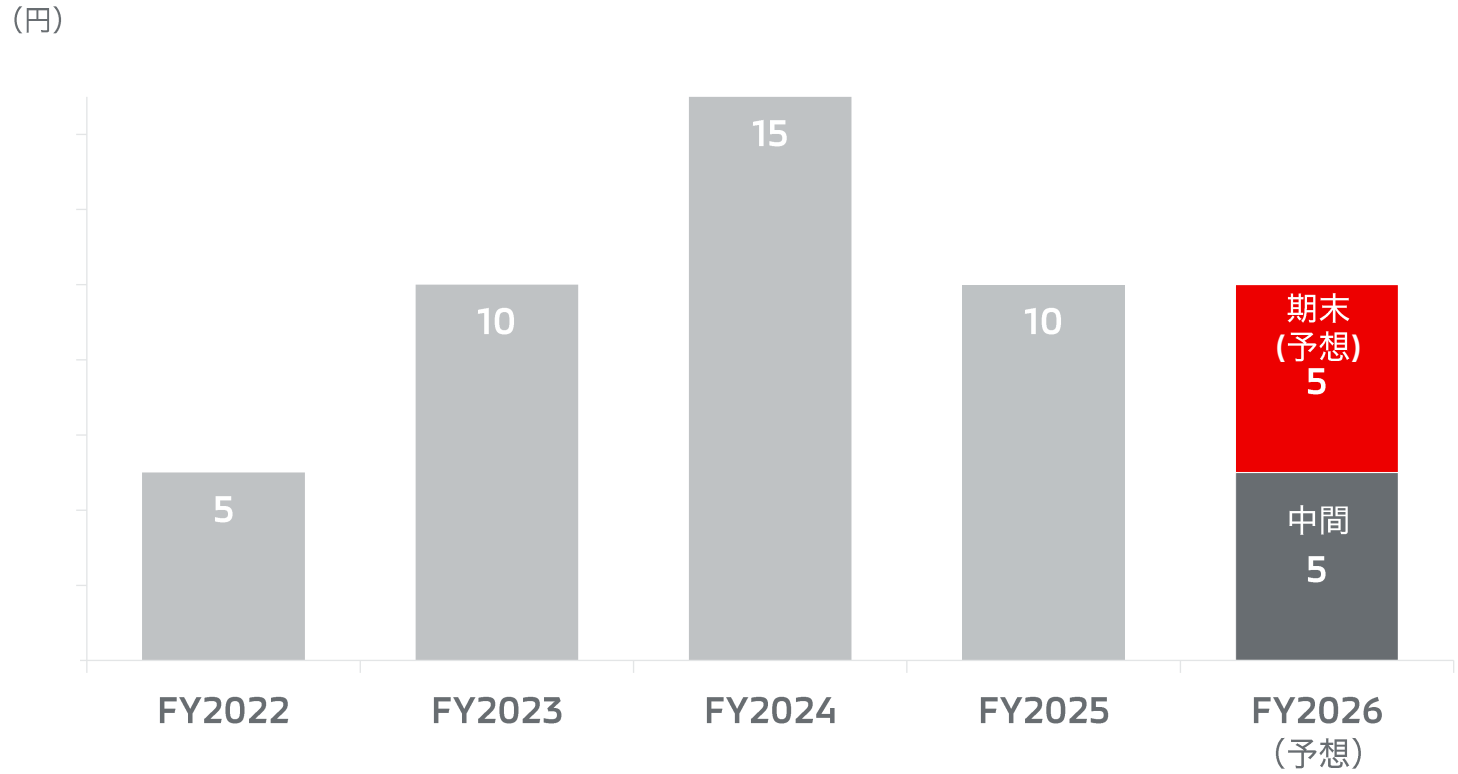
減価償却費

880億円
+7% (YoY)



2026年度 株主還元見通し

1株当たり配当金: 10円（見通し）



本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでおります。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、金利・為替の変動、関係法令・規則の変更可能性等により、実際の業績がこれらの記述と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご留意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。